

平成30年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
作業技術研究会 開催要領

東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田作研究領域長(部会長) 高橋 茂
生産基盤研究領域長(副部会長) 中山壮一

1. 趣旨

東北農業試験研究推進会議運営要領に基づき、東北地域農業に係わる作業技術分野の試験研究を適切かつ円滑に推進するため、農研機構東北農業研究センター及び公設試験研究機関等の関係者が参集し、現場段階での技術的課題等について議論するとともに、当該分野が重点的に取り組むべき研究開発とその推進方向について検討する。

現在、さまざまな機関で研究開発が行われている「スマート農業」技術については、技術開発は進められているものの今後現場にどのように実装・普及していくかについての考えが十分に整理されていない。このため、技術開発を行うとともに実際にビジネスを展開している企業や、資金面から農業現場に近い企業の講演者から取り組み事例の紹介を受け、本年度の重点検討事項である「東北地域でのスマート農業技術の現場への適用に向けた現状と課題」について議論する。

2. 開催日時 平成31年1月29日(火) 13:20 ~ 1月30日(水) 12:00

3. 開催場所 アイーナ(いわて県民情報交流センター) 研修室501
岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

4. 議題・内容

1月29日 13:20~17:15

1) 開会・挨拶

2) 重点検討事項「東北地域でのスマート農業技術の現場への適用に向けた現状と課題」
話題提供

(1) 「株式会社スカイマティックスの技術とスマート農業でのビジネス展開」

株式会社スカイマティックス 営業担当 大路 幸宗 氏

(2) 「青森銀行の農業分野への取組とスマート農業の現状」

株式会社青森銀行 企業サポート部 業務顧問 石郷 喜廣 氏

アグリパートナーチーム主査 泉山 航太 氏

(3) 各県及び東北農研からの話題提供

(4) 総合討論

1月30日 9:10~12:00

3) 研究成果情報の検討・確認

4) 「最新農業技術・品種2020」候補の選定

5) 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討

6) 平成31年度作業技術研究会(夏期)についての意見交換

7) 閉会

5. 参集範囲 国立研究開発法人および公設試験研究機関、東北農政局、県行政・普及部局、その他運営責任者が必要と認める者

6. 事務局・連絡先等

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4

農研機構東北農業研究センター生産基盤研究領域 作業技術グループ長 長坂善禎

TEL:019-643-3535 FAX:019-641-7794 E-mail:zentei@affrc.go.jp